

令和5年度第10回都市経営会議 令和5年（2023年）8月25日（金）開催

1 令和5年度補正予算について

【提 案】 企画経営部

【結 果】 承認

【質疑等】 なし

2 令和5年度宝塚市病院事業会計補正予算（第1号）について

【提 案】 市立病院

【結 果】 承認

【質疑等】 なし

3 宝塚市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【提 案】 総務部

【結 果】 承認

【質疑等】

- ・ 改正概要資料中、改正理由に「不適正な給与制度を是正する必要があるため」とあるが、表現として正しいのか。「不適正」ではなく、「適正な」給与制度に改定するという表現で良いのでは。

⇒ 県から各市町に送付された通知の文言を引用している。いただいた指摘を踏まえ、修正すべき点は修正する。

4 宝塚市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

【提 案】 上下水道局

【結 果】 承認

【質疑等】

- ・ 平均改定率19%の値上げについて、市民への影響を考慮し経過措置を設けられたことと思うが、上下水道事業審議会の中で経過措置に関する議論はあったか。

⇒ 経過措置に関する意見等はなく、料金改定を先送りにすれば、さらに厳しい経営状況に陥ることを鑑み、答申書にも経過措置の話は書かれていない。とはいえ答申を受け議案として提出するにあたり、昨今の物価高騰等の影響を考慮し、経営シミュレーションも行った上で1年間は半額改定とする判断に至った。

- ・ この度の料金改定により、1年間でどの程度の効果額が見込めるのか教えてほしい。

⇒ 令和6年4月1日から19%の値上げを行った場合は、令和10年までの5か年で毎年度6億円の収益改善がある。半額改定の場合は約3億円程度に減少するため、令和6年度は料金回収率が100に届かず原価割れの状況が続くが、令和7年度から19%の改定をさせていただくことにより、料金回収率が100を上回るため経営は改善す

ると見込んでいる。

- ・ 県の水道料金を減額するという新聞報道を目にした。1年間でどの程度影響があるか。
⇒ 県営水道の入水が2円値下げになるとの新聞報道があった。本市は県営水道に4分の1程度依存しているため、効果額にして年間1,200万程度安くなる。これまで値下げに向けた要望を行ってきたこともあり、一部配慮いただけたものと考えている。
- ・ 過去に水道局として努力すべきことが出来ていないのではと厳しい意見もあったと思うが、今後の取組姿勢についてどのように考えているか。
⇒ 現在運用中の経営戦略に掲げる目標額が現時点で74%程度の達成率となっている事実をしっかりと認めた上で、残りの26%の部分をもどのように努力していくかについては、戦略には掲げていないが既に努力している事柄の中にも一定の効果額が見込めるものがある。長期的なスパンで抜本的な経営改革をビジョンを掲げようとしており、その一端を示すことで、安心感を抱いていただける説明に努めたい。